

さくらだより [32号]



2013年6月26日発行

米映画の人気女優アンジュリーナ・ジョリーさん(38)が乳癌予防のために左右の乳房切除の手術を受けたことを公表しました。ジョリーさんの母親は卵巣癌のため56歳で亡くなり、又叔母も乳癌で61歳で亡くなりました。身近な家族が比較的若い年齢で癌になっている場合、遺伝的に乳癌や卵巣癌になりやすい可能性があります。「遺伝性乳癌、卵巣癌症候群」と呼ばれる病気です。この症候群の原因となる遺伝子は2種類あり「BRCA1」と「BRCA2」で、そのどちらかの遺伝子に異変がおきていると乳癌や卵巣癌のリスクが高まることが知られています。遺伝子は血液で検査できるので、日本でも対応できる病院は約80ヶ所あります。両親や兄弟姉妹に乳癌や卵巣癌にかかった人がいる場合カウンセリング等受けていただいて、検査することができます。乳癌や卵巣癌の予防切除を行っている病院も増えてくる見通しなので日本も米国と同じように一般的な医療になるかもしれません。ちなみにアンジュリーナさんは卵巣切除をする予定だそうです。

☆2013年1月～4月までのARTの成績です。今回40歳以上が32.1%と健闘しました。今後も更に良い成績が得られるよう頑張りたいと思います。

2013年度1月～4月のARTの成績を報告いたします。

採卵件数・・・136例【～29歳6例、30～34歳21例、35～39歳41例、40歳～68例】

受精方法別 {
体外受精・・・105例
顕微授精・・・26例

融解件数・・・132例【～29歳6例、30～34歳30例、35～39歳47例、40歳～49例】

移植件数・・・140例【～29歳7例、30～34歳32例、35～39歳48例、40歳～53例】

妊娠数・妊娠率（移植あたりの胎嚢陽性率）・・・60例(42.9%)

【～29歳6例(85.7%)、30～34歳15例(46.9%)、
35～39歳22例(45.8%)、40歳～17例(32.1%)】

